

屋上緑化最適植物探る

清田研究室 コスト面の分析も

で、コストを抑えられるかをデータで示したい」と話している。屋上緑化を体験してもらうため、プラントの見学にも応じる。同大総務部 ☎082(921)3123。

実験プラントは、1方(4階建て)の屋上に2.4四方と3.4四方の計11区画を設置。乾燥に強い多肉植物のセダムや芝、サツマイ

片を混ぜた舗装材を敷いた区画も置く。

晴天の昼間、植物や舗装材と建物が接する面の温度を計測すると、アスファルトは約40度に達したのに対し、木片を混ぜた舗装材は約35度、セダムは約31度にどどまった。温度変化は来年12月まで、終日にわたって1分ごとに記録し、外気条件などで効果がどのくらい変わるかを調べる。

市の「地球温暖化対策推進条例」は、来年4月から市街化区域で敷地面積千平方メートル以上の建物を新築するか改築すると、一定割合の緑化を義務付ける。清田教授は「屋上緑化を広げるため、どんな植物や土を使えば効果的

広島工業大(広島市佐伯区)の清田誠良教授(52)＝建築環境工学＝の研究室が、屋上緑化の実験プラントを構内につくり、低コストで効果的な緑化の方法を探っている。植物によっては、建物の表面温度を大幅に下げることが実証された。(藤村潤平)

広島工業大に実験プラント



屋上の実験プラントで、セダムの育ち具合を確認する清田教授

キャンパス
苑